

令和 5 年 9 月 28 日

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

4月18日に小学6年生と中学3年生を対象に「令和5年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。朝日小学校の結果と今後の取組についてお知らせします。

調査日:令和5年4月18日(火) 調査対象:第6学年 内容:国語 算数 質問紙

<朝日小>

	国語	算数
全国平均との比較	◎	○
福井県平均との比較	○	○

【表の見方】 平均正答率

◎…3.0ポイントより、上回る

○…±3ポイント以内

△…3.0ポイントより、下回る

朝日小学校は、2教科とも全国平均を上回りました。また、2教科とも県平均と同程度でした。



国語

○良好な点

・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができていました。

○課題のある点

・文章から理解したことに基づき、条件に合わせて自分の考えをまとめることが不十分でした。
 ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。ただし、全国や福井県と比べると、本校の正答率は高く、無解答率も低くなっており、粘り強く問題に取り組んでいたと考えられます。

算数



○良好な点

・示された日常生活の場面を解釈し、小数のたし算やかけ算を用いて求め方を「式や言葉を用いて記述すること」ができていました。
 ・伴って変わる2つの数量の関係が比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を選ぶことができていました。

○課題のある点

・わり算の筆算について、図をもとに、各段階の商の意味を考えることに課題が見られました。
 ・()を用いた式や、たし算とかけ算の混合した式を、場面と関連付けて読み取ることに課題がみられました。
 ・2つのグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することに課題が見られました。
 ・高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大きさを判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題が見られました。ただし、全国や福井県平均と比べると、本校の正答率は高く、無解答もありませんでした。

課題に向けた取り組み

国語

「文章の内容や構造を捉える力」「複数の情報を関連付け考えをまとめる力」「図表やグラフを用いて伝える力」を重点的に育成します。

- 分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフなどを用いるとよいかを考えます。
- 書いた文章について意見を伝えあい、よいところや改善点を見つける活動を充実させます。
- 学校行事や他教科の学習と関連付けて、「書くこと」の必然性を生み出します。
- 目的に応じて複数の資料から必要な情報を見つけ、情報を比較したり関連付けたりして考えながら、条件にそって自分の考えをまとめる学習を行います。
- 情報の整理の仕方について、学びます。
(例) 大事な言葉を囲み、線でつなげる。視点にあわせて色分けする。表に整理する。

算数

「式・ことば・図・グラフなどを組み合わせて課題を解決する力」「解決のプロセスや着眼点を論理的に説明する力」の育成を大切に授業を行います。

- 四則計算(たし算・ひき算・かけ算・わり算)の意味を理解するために、図や具体物で仕組みを確認したり、友達に説明したりする活動を充実させます。
- 「筆算」の仕組みを、具体物・図・式を関連付けて考察する活動を行います。
- 複数のグラフの似ているところや違うところ、特徴や傾向を考察し、説明する活動を充実させます。
- 三角形や四角形などの図形の構成や面積について、自ら発見し、実感を伴って理解できるようにします。等積変形(面積はかえずに形をかえる)などの操作活動、数値を面積の公式に当てはめて計算する活動、数学用語を用いて図形の性質を説明する活動などを行います。

調査問題より

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを播きました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、**草がなかなか生えてきて、とてもこまらなりました。**そこで、雑草の量について、農家の田んぼとよくくらべてみました。**みさかん**は7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量 (単位)

日	農家の田んぼの雑草の量	学校の田んぼの雑草の量
7月1日	2	1
7月8日	3	1
7月15日	4	1

※図表の作りかたは、雑草の量と刈り取りの回数とを比較するために、同じ大きさのマスに入れ、その量を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

【カード④】

7月20日
[農家の石山さんのお話]
・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが弱気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
[学校でできる解決方法]
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような①と②の2つの三角形をつくりました。

上の①と②の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- ①の面積のほうが大きい。
- ②の面積のほうが大きい。
- ①と②の面積は等しい。
- ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

面積の大小を判断し、理由を記述する。(算数)

目的に応じて必要な情報を関連付け、考えをまとめる (国語)

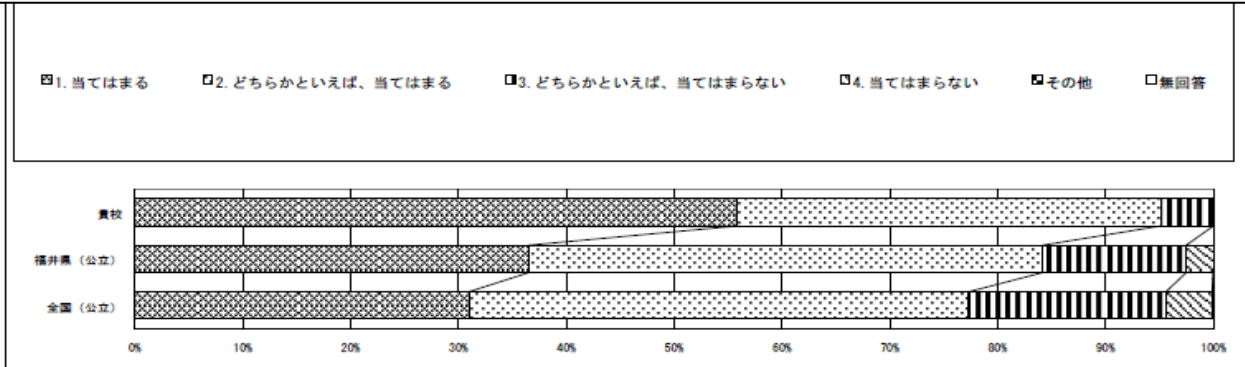
※本調査結果については児童が身に付けるべき学力の一部分であること、学校における教育活動の側面に過ぎないことに留意する必要があります。(文部科学省より)

学習や生活に関するアンケート結果から

(1) 学びに向かう力について

「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」という質問に対して肯定的な回答をした児童が95.0%と高く、その中でも「当てはまる」と答えた児童は、55.7%と半数以上でした。授業の最後に、「今日の授業で学んだこと」「友達のどのような考えから自分の考えが変わったか」「これからどのように学習をしていきたいか」など、視点を示して「振り返り」を書いたり、その内容を仲間と共有したりしていく過程で、学びに向かう力が身に付いていると考えます。また、対話的な学びが進み、友達の意見・考えを通して学ぶことで「深い学び」へとつながるようになってきたと考えられます。今後も継続し、学びを調整する力が付くように支援していきます。

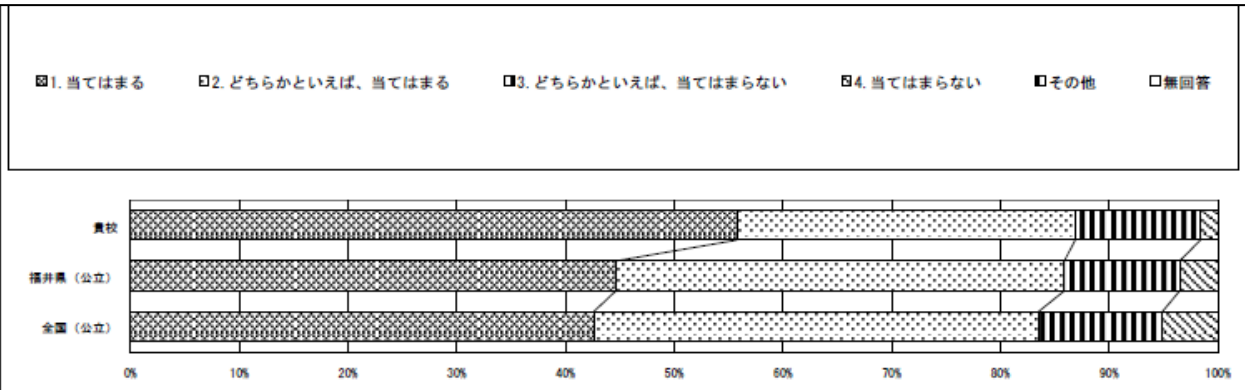
学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



(2) 自己肯定感について

「自分によいところがある」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は86.8%で、その中でも「当てはまる」と答えた児童が55.7%と福井県や全国の平均を上回っています。学校では、お互いを認め、つながりあい、自分のよいところを見付け前向きに生活していく「ポジティブ教育」を続けてきました。今後も、これらの取り組みや日々の授業を通して、自己肯定感を高め、希望を抱いて前向きに生活していこうとする姿勢を育んでいきたいと思ひます。

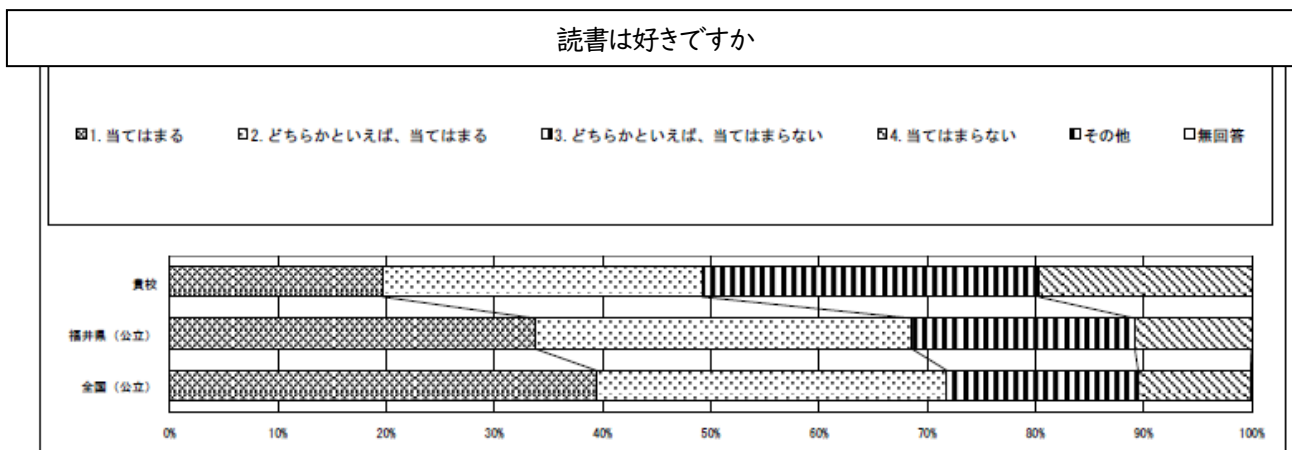
自分にはよいところがある



(3) 読書について

「**読書は好きですか**」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は49.2%と福井県や全国の平均を大きく下回っています。学校では「読書の日」を設けたり、「親子読書」に積極的に取り組んでいただいたり本にふれあう機会を作ってきました。

今後は、「読書の日」や「わくわくタイム」の時間を使って、学校全体（縦割り班）で読み聞かせをするなど多様な方法で本に触れる時間を作ったり、学年に応じて興味関心をもって読める本を購入したり、町立図書館の司書の方の協力を得て図書環境を整えていったりと、児童が「読書が好き」と感じられるような取り組みを考えていきます。ご家庭でもお子さまと読書について会話をしていただけたらと思います。



学ぶ力を「生きる力」に

社会が変化を続けても、
自ら課題を見つけ、仲間と学び合い、ふるさとや世界に目を向け、
たくましく、人生を、そして未来社会を切り拓いていく。
そんな児童の育成を目指して、教育活動の充実と改善を図っていきます。



朝日小学校では、「**主体的・協働的・創造的に課題を解決する力**」

「**確かな知識と技能**」

「**豊かな思考力と表現力**」を大切に育てていきます。

☆「**単元構想**」「**魅力ある学習課題**」を基に粘り強く取り組み、「**学びのふりかえり**」を通して自らの学習を調整できるようにします。

☆「**目的、方法、見方・考え方を明確にした対話**」「**効果的な ICT の活用**」により、自己の考えを広げ、**深める対話的な学び**を充実させます。

☆「**繰り返し学習**」を工夫し、**基礎的基本的な学習内容の定着**を図ります。

☆**図書環境を整え、いつでも読書に親しめる**ようにします。

学校で学んだこと、社会や地域の出来事、体験したこと、読んだ本のことなどについて、ご家庭で話し合ってみてください。
ご家庭での働きかけは、「生きる力」を育む原動力になります。

